



新クラスでの生活が始まり、もう1か月が過ぎました。登園時、お母さんとなかなか離れずに泣いていた新入園児も、たくさんの先生やお友達にやっとなり、明るい笑顔を見せてくれるようになりました。進級児も、ひとつ大きくなった喜びを感じ、落ち着いた日々を過ごしています。

この時期は子どもたちにとって、緊張感がとけ疲れやすい時期でもあります。ご家庭でも、睡眠・朝ごはんをしっかりとって、元気に過ごしていけるようご配慮いただければと思います。

### 春でも車内で熱中症に…車の中に子ども残さないで!!

ぽかぽか陽気が心地よくなるこれからの季節は、止めた車の中に閉じ込められた子供が熱中症になる事故が起きやすい時期でもあります。晴れの日でも外気温はそれほど上昇しないため、子どもを車内に残し買い物などに出掛けてしまうケースが多いためです。JAF(日本自動車連盟)などは「強い春の日差しに油断は禁物」と、注意を呼び掛けています。

JAFでは4月に、窓を閉め切った車内での温度変化をテストし、その結果、最高外気温は23.3度でしたが、車内室温は最高48.7度、ダッシュボードは同70.8度にまで達したそうです。

4枚の窓すべてを4センチ開けた車では、全閉した車より低いものの、車内温度は最高

38.9度まで上昇。「直射日光が当たるダッシュボードが熱源となるため、車内温度の上昇に、車種や外装色、外気温はあまり影響ない」としています。

JAF広報部は「外は涼しいから大丈夫という思い込みが、幼い子どもの熱中症事故を引き起こす原因」と指摘し、「春でも、車内気温は真夏と同じぐらい上昇することを知ってほしい」と訴えています。

外は23℃でも…



車内は49℃!!



### 5月の予定

- 1(木) 体育指導(職員・幼児)
- 2(金) こどもの日会
- 14(水) 春の健診
- 14(水) 音楽指導(幼児)
- 16(金) 調理保育(らいおん)
- 19~23 身体測定
- 19~23 職場体験(羽2中・2年)
- 20(火) 体育指導(幼児)
- 20(火) 職員園内研修
- 22(木) 保育参加・懇談会(くま)
- 23(金) お誕生日会
- 27(火) 避難訓練
- 28(水) 懇談会(ひよこ)

### 6月の予定

- 3日(火) 保育参加・懇談会(ぱんだ)
- 4日(水) 懇談会(うさぎ)
- 5日(木) 体育指導(職員・幼児)
- 6日(金) 虫歯予防集会
- 10日(火) 懇談会(ぺんぎん)
- 11日(水) 音楽指導
- 14日(土) 職員研修
- 16~20日 身体測定の週間
- 18日(水) 体育指導(幼児)
- 19日(木) 調理保育(くま)
- 20日(木) 職員会議
- 24日(金) 避難訓練
- 27日(金) お誕生日会
- 28日(土) 職員研修

子どもが親に望んでいるもの。それは、「どんなキミでもキミが好きだよ」というメッセージです

「シンプル育児の正解 主婦の友社編」より抜粋



「あなたが大事」というメッセージを子どもの心に届けたい

子どもが育つためには、絶対に必要なもの、それは「自分は大事にされている」という実感、安心感。あとは子ども自身のさまざまな体験。ごくシンプルに考えれば、この二つだけかなと思います。

たとえば、「明日は遠足だよ」と言ったら、「じゃ、あなたの好きなから揚げを作ろうね」と答えてくれるお母さんの笑顔。友だちとけんかをしてしょぼりしていると、「元気がないのね」と顔をのぞきこんでくれるお母さんの心配そうな表情。毎日の生活の中の、ささやかなふれあいを通じて、自分は大事に思われているんだという実感は育つのだと思います。特別なことではなく、毎日ご飯を食べさせてくれて、気持ちよく寝かせてくれて、元気がなかったら「あらあら、どうしたの」って心配してくれて。そんなベーシックな部分さえしっかりしていれば、子どもは安心して、ちゃんと育っていけるものです。

「いい子なら愛してあげる」。条件付きの愛情になっていませんか?

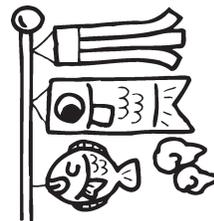
思春期に問題を起こした子どもたちの多くは、「あなたは大事」という親からのメッセージをしっかりとってなかったと聞きます。

もちろん、どこの親もわが子のことを大事に手をかけて育ててきたはず。でも、もしかしたら、過保護・過干渉になりすぎて、かんじんな「あなたは大事」というメッセージが伝わらなかったのかもしれない。あるいは、「あなたの幸福は、いい成績を取ることに」「一流中学に入ること」などと子どもへの「愛情」がいつか「要求」に化けて、子どもを苦しめていたのかもしれない。

いま、幼稚園の「お母さんごっこ」でいちばん人気があるのは、お母さんではなくペット役です。「だって、イヌやネコはなんにもしないのにかわいがられるんだよ」と、子どもたちは言います。常ににが課題を出されて、それをクリアできたら「いい子ね」と言ってもらえる。最近の子どもたちはそんな条件付きの愛情に疲れているのかなと、少し心配です。

子どもは、親の言葉や指示で育つわけではありません。すべての子どもが親に望んでいるのは、「どんなキミでもキミが好きだよ」というメッセージです。わが子への愛情が、「いい子なら大事にしてあげる」という条件付きの愛情になっていないか、親はときどき自分の心をのぞいてみることも必要かなと思います。

### 端午の節句



端午の節句とは5月5日に、こいのぼり・鎧兜・菖蒲を飾ったり、菖蒲湯に入り柏餅やちまきを食べ、男の子の厄よけと成長を祝う行事です。

子どもの日は、「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」国民の祝日です。子どもの成長を祝う「端午の節句」が5月5日だったことから制定されました。

★端午の節句の由来…古来より中国では、物忌みの月(5月)には厄払いの行事が盛んに行われていました。端午というのは、月の端(はじめ)の午(うま)の日という意味。午(ご)と五(ご)の音が同じなので、毎月5日を指すようになり、やがて5月5日のことになったとも伝えられています。端午の日に、邪気をはらう力があるといわれる「菖蒲」をヨモギとともに軒につるしたり、菖蒲湯に入ったりしました。「菖蒲」が、武運を大切に「尚武(しょうぶ)」と結びつき、男の子の厄よけと成長祈願になりました。

★なぜ男の子のお祝い?…5月5日は、徳川幕府の重要な式日に定められ、大名や旗本が、式服で江戸城に参り、将軍にお祝いを奉じるようになりました。そして、武家に男の子が生まれると、門前に馬印(うまじるし)や幟(のぼり)を立てて男児誕生を衆々に知らせ、お祝いました。この行事が、薬草を摘んで邪気をはらうという端午の行事と結びつき、男の子の誕生の祝いへと結びついていったのだそうです。

### 保育園を支えていただいている方々

保育園は職員の他に、多くの方々に支えられて運営しています。



#### 囑託医

小児科 道佛 雅克先生(わかさ医院院長)  
歯科 井上 雄温先生(井上歯科医院院長)  
健診の他、日々の様々な病気・ケガについても、看護師を通して相談にのっていただいています。

#### 体育指導 長屋 あゆみ先生(日本経営教育研究所)

子どもたちから大人気の長屋先生です。毎月の幼児体育指導の他、職員を対象とした体育指導研修も行っていただいています。

#### 音楽指導 大月 友則先生

音楽指導の先生で、合奏やマーチングなどの指導で全国を飛び回っています。園では幼児クラスでの歌や合奏指導に合わせ、職員研修もお願いしています。

#### 心理相談 澤井 晴乃先生(NPO法人かけはし)

心理相談員の観点から、日々の保育へのアドバイスをいただいています。また、職員を対象とした発達心理に関わる研修も行っていただいています。

#### カメラマン 後藤 巖さん(ゴトウ写真工房)

子どもの自然な笑顔を撮影するのがとても上手なプロカメラマンです。事務所は練馬区にあり、いつも行事のたびに車でお越しいただいています。